豊かな地域つくりをめざして

高令者大学が婦人会・青年団と交流

去る一月二十三日横越村公民館において、高令者大学、連合婦人会、連合青年団、三者による交流会を開催した。

平日の開催なので青年団の参加が少ないため、午前中は一緒に講演を聞き、午後から六人の代表によるパネル討議（代表者討議式学習）を開催した。村長もみんなの激励にかけつけてくれた。

最初に羽二生恵太郎氏（元浜浦小学校長）の講演内容を少し紹介しましょう。演題は高令者、婦人会、青年団が地域づくりに果す役割は何か。

㈠今のおとしよりは日本歴史はじまって以来の立派なおとしより、それは戦争を体験しながら、戦後のドン底生活をたてなおしてくれた。その為に孫達は王様のような生活ができるのです。

㈡それぞれの世代の役割ですが、高令者は若者や婦人に知恵を貸してやって下さい。婦人は愛情あふれる里作りをして下さい。婦人会がしばめば横越村もしぼむでしょう。

㈢若者は勇気と野心を持って失敗を恐れず、自分で道を切り開いてください。

次に六人のパネルマンから自分達の果す役割はなんだろうという課題で意見交換をしました。課題に十分せまることができませんでしたが、その一部を次に記しました。

司会、助言は横小の佐々木先生にお願いしました。

高令者　坂井　四雄（沢海）
〃　高橋　良美（横越）
婦人会　武藤マツミ（横越）
〃　仁多見弥生（沢海）
青年団　林　総一（横越）
〃　中野　芳夫（〃）
〃　坂井：荷車を引いて坂を登っている人をみると押してやろうというような手伝いはできる。でも村づくりになるとどういうことをやればよいのか、村の下には大字がありその下に地域があり家庭があるその家庭を明るくするために家族に心配をかけないようにしてゆきたい。

高橋：いねつくり一本で六〇年、今は公民館やお寺の手伝いをしている。これからはいろいろ人の発言を善意に解釈し一日感謝の念で送りたい

武藤：私の母はやま着物は手づくりで作ってくれた。今は婦人も働いているので金を持っている。ゴミの中には新品のようなものもある。物にも命があると思っている。つかえるものは大切につかっていきたい。

仁多見：婦人会員は家庭の主婦だから愛情の精神を忘れないで縦、横のつながりで密着した活動をしていきたい。婦人会は今年は老人ホームへ手伝いに行く予定です。それから公民館で行う心のこもった公営結婚はずっと続けていってほしいと思います。

中野：青年団の目的は青年の生活を高めるためにあります。村では村民運動会をやっていますが、これは美浦村へ青年団がで交流にいき、それからはじめたものです。青年は夜遅くまで会議をするので家の人に心配をかけると思いますが、警察のやっかいになるような人はいません。青年団はサークルと違います。地域のために活動するのです。一人でできないものをお互いの協力によって事業を行っているのです。

林：（農家の嫁さんについてどう思うかの問に）農業がいやならいやでよい。自分だけで農業をやる。性格としては明るい方がよい。これからは年令に関係なく人間らしい人とつきあっていきたい。

最後に佐々木先生が「みなさん方に村が何をしてくれるかを期待するのではなく、みなさん方が村のために何ができるかを考えてみたほうがよいのではないでしょうか」と助言をしてくれました。

パネルマン壇上はー

メモをとりながら講演を聞く

姉妹村「美浦村」から

年頭のごあいさつ

美浦村長　桑名敏夫

横越村のみなさん、明けましておめでとうございます。

私は昨年の五月、糸賀さんの後を引継ぎ村長に就任、初めての正月を迎え、さらに決意を新たにし村勢発展のための努力を傾注したいと考えております。

昨年、当村の教育委員と校長会の方々が御地を訪問し、親しく御指導と御厚情をうけられ、又本年の二月には御地の教育委員と校長さん方が、美浦村にお出になられるとお聞きし、今から皆さんの御来村を心からお待ちしております

両村の環境が同じ中で、昭和三十六年に青年会の交流会に始まり、今日まで幾多の交歓会がもたれている話を聞かされ、今更ながら両村のきずなの強さを痛感される次第です。

私も始めて予算編成時期を迎え、毎日多忙な日を過してどうぞ、新しい年の光を横越の皆さんと共に仰ぎ、本年も一層の御多幸と御健勝を念じ、私の年頭の御挨拶といたします。

第19回 俳句作品公募

○句題…三題通じて六句
春の水（春水、水の春）
桃の花（緋桃、白桃、桃畑、桃咲く）
春眠（春の眠り、春眠し春の夢）
○〆切…三月十五日（日）
○提出先…横越村公民館
多数の方のご応募をお待ちしております。

春の水山なき国を流れけり　蕪村

第6回村民スキー教室

親子連れに高校生も仲間入り

第六回村民スキー教室が去る一月二十七日、晴天に恵まれた上越線五日町スキー場を会場に開催されました。

この教室は六年前から開催されているもので、すっかり住民に定着した冬のスポーツ行事です。

参加人数は六十六名、例年どおり親子連れの参加が多かったのに加え、高校生の参加も年々多くなっています。

当日は早朝からねむい目をこすり〳〵バスに乗り込み、午前六時三十分横越を出発、現地についてからは、初心者指導が行なわれ、初めてスキ！をはいた人など、約三十名が横越スキークラブ員から指導を受けていました。

午後からは、自由時間、おもい〳〵のスタイルでゲレンデいっぱいにおもいっきりシュプールを描いていました。

停電のため、約五〇分間リフトが止まるハプニングもありましたが、楽しい一日を過していたようです。

第七回　新春俳句大会

一句吟は阿部晃氏

第七回新春俳句大会が去る一月二十日公民館に於いて開催された。

今回も常連の小防賀吟社（木津、二本木の方が主）と阿賀吟社（横越下）の方が中心であったが他に愛好者が集まり二〇余名の大会となった。

今回、田中教育長が田中杯（トロフィー）を寄贈してくれた。そのお陰か新人の方々の活躍が目立ちました。

今回の席題は「寒雲」「日向ぼこ」「枯木」で一句読吟は「冬の川」でした。

成績は次の通りです。

○兼題総合
一位　今井　夫子
二位　今井　天花
三位　坪谷　耕雨

○兼題高点句
一位　今井　天花
磨かれし明治の柱や初暦
二位　ほそやま
巻き癖が戻らぬまゝに初暦
三位　今井〃夫子
和服の娘袖を気にして書初める

○席題総合
一位　今井　夫子
二位　今井　天花
三位　小林　竹生

○席題高点句
一位　田村きよし
斗病の髪結いあげて日向ぼこ
二位　加藤　喜秋
日向ぼこ時々そろう笑い声
三位　今井　天花
咳落し人遠ざかる冬の雲

○一句吟
一位　阿部　晃
並べおく船静かなり冬の川

○年間総合成績
一位　坪谷　耕雨
二位　増渕　一路
三位　小林　竹生
四位　東城　素秋
五位　賀　寿　平

トップ写真の説明

今年から「村の特産」をトップ写真に登場させることにしました。

今回は川根谷内の鳳間憲男さんのゞしいたけ栽培ゞをご紹介します。

「今から七年前にはじめました。現在一反あまりのハウスでやっていますが、原料や原木の値上りがひどいのでこまっています。でも自分の考えで人に使われることがない商売なので、この点だけよいと思っています。しいたけの苗を打ってしいたけがでるまでに一年半を要しますが、出はじめると年三回ぐらい出ます原木への水づけは大変ですが近くの仲間と共に規模を広げたいと思っています。」

（鳳間憲男氏談）

行事のおしらせ

二月十七日（日）横越村連合婦人会総会（於、公民館）
珠算検定試験（於、横越小）
二月十九日（火）臨時村議会（役場）
二月二十四日（日）郡連合青年団レク交流会（於、公民館）
沢海芸能祭（分館）
三月七日（金）一日入学（於横越小）
三月十一日（火）定例議会招集日（役場）
三月十四日（金）中学校卒業式
三月十六日（日）珠算大会（於、横越小）
三月二十四日（月）小学校卒業式

第八回 村民囲碁将棋大会のご案内

○日時…三月二十三日（日）午前九時から
○場所…横越村公民館
○競技種目
将棋　小学生の部
中学生の部
一般（高校生も含む）
囲碁　一般の部のみ
多数の方が参加されますようお待ちしています。